豊田市
TOYOTA CITY

Press Release

令和６年１１月２０日

問合せ
未来都市推進課（担当者：清水　智哉、水谷　大樹）
（内線）３-0852（直通）0565-34-6982

市民・企業・行政などあらゆる主体が活用可能な仮想空間「メタバースとよた」の運用開始について

豊田市は、メタバースを地域課題解決に資する社会インフラとして捉えるとともに、その将来的な普及を見据え、市民、企業、行政が一体となってメタバースを活用しやすい環境を整備するための取組方針等を示す「豊田市メタバース将来ビジョン」を令和６年５月に策定しました。（令和６年５月 31 日報道発表済み）

このたび同ビジョンに基づき、市民や企業、行政、団体が、コミュニティ形成や情報交換、実証実験を目的としたイベント等を主体的に行える仮想空間「メタバースとよた」を構築し、以下のとおり運用を開始します。

●運用開始日時

令和６年 12 月 14 日（土）午後１時

●「メタバースとよた」の特徴

・国内最大級のメタバースプラットフォーム「cluster」（クラスター）上に構築したことで、同プラットフォームに備えられた様々な機能（画像等の表示スクリーン機能、テキストチャット機能、ギフト機能等）を用いて気軽にイベントや会議等の開催が可能。
・活用に興味のある団体等へ無料で貸出し、団体等が主体となってイベントを実施することが可能。合わせて、イベント告知や協力者の募集も同空間内で可能。
・イベント等の目的に合わせて機能別に４つのエリア（エントランスエリア、相談エリア、教育エリア、イベントエリア）を設定。※各エリアの詳細は別添参照

●活用例と期待する効果

・悩みや課題を抱えた人等が気軽に相談できる場としての活用
・若者の課外活動や不登校児童生徒の新たな居場所としての活用
・様々なテーマでの講演会やステージイベントの会場として活用
・新製品・新事業のピッチイベントや課題解決提案事業の場としての活用
・様々な価値観を持つ人々による情報交換や交流イベントの場としての活用

●利用方法

①パソコンやスマートフォン等から「メタバースとよた」の専用ページ（「cluster」のホームページ内）にアクセスし、ID やアバター等を登録　＜二次元コード＞
②上記専用ページ又は「cluster」のアプリケーションからイベント等に参加

●その他

12 月 14 日（土）の運用開始に合わせ、同日午後１時から「メタバースとよた」内で市長等が参加するオープニングイベント（講演会やパネルディスカッション、交流イベント等を企画中）を開催します。詳細が決まり次第、別途報道発表します。

以上（添付資料：**有**　写真データ：**有**）

別添資料

エントランスエリア

メタバースとよたの玄関口。豊田市の象徴となる施設をメタバース上で再現するとともに、豊田市のイベント情報等を掲載。

相談エリア

対面では相談しにくい人等が、1 対 1 もしくは 5 人程度の少人数グループで、アバターを介した悩み相談の場等での活用を想定。

教育エリア

小中学生を対象とした課外活動や不登校児童生徒の居場所等での活用を想定。

イベントエリア

企業や市民活動団体等が行うセミナーなど大人数を集めるイベント等での活用を想定。